

図書館だより



NO.281 2021年10月号
(2021年10月1日発行)

はつかいち市民図書館
電話 (0829) 20-0333
廿日市市下平良 1-11-1

ホームページ <http://www.hiroshima-hatsukaichi-lib.jp/>



通常開館のお知らせ

廿日市市内図書館全館は 10月1日(金) より通常開館 いたします。
ただし、密集を避けるために座席を減らす等の対応を引き続き行います。
利用者の皆様には、館内でのマスク着用・入出時の手指消毒 に、ご理解・ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

～ 利用者の皆様へのお願い ～

- 1 発熱や息苦しさ、その他体調に不安がある方は、利用をご遠慮ください。
- 2 館内に消毒液を置いています。また、本などを読まれる場合は手を洗ってからご利用ください (トイレに手洗い場があります)。
- 3 貸出・返却カウンターでお待ちになる時は、前の方と十分な距離をとるよう、間隔をあけてお並びください (床面に目印をつけています)。
- 4 マスクの着用にご協力していただきますようお願いいたします。
- 5 館内での長時間の滞在は、ご遠慮していただきますようご協力をお願いいたします。



《中央展示》

『死にたいけど
本を読んで元気になりたい。』

さまざまな悩みが重なり、「心が苦しい」「生きるのがつらい」…そんな気持ちになったことはありませんか？

うつなど心の病気、気分が晴れないときに前向きになれるような本を集めて展示しています。



----- 今月の展示 -----

《企画展示》

『大切な人と話してみませんか？
臓器移植について』

10月は臓器移植普及推進月間です。「臓器提供は何歳からできるの?」「意思を確実に伝えるには?」その疑問が、知らない誰かや家族、自分の命を救うきっかけになるかもしれません。一度、大切な人たちと、臓器移植について話してみませんか。

(協力: 公益財団法人 ひろしまドナーバンク)

展示期間: 10月1日(金)~10月27日(水)

予約・リクエストカードの FAX による受付開始について



これまで、予約・リクエストカードの受付は、カウンターへお持ちしていただいておりますが、図書館サービスの向上につながる取り組みとして、予約・リクエストカードの FAX による受付を開始しました。

【申請方法】

図書館利用カードの登録がある方に限ります。

利用カードをお待ちでない方は、申請者の住所・氏名を確認できるものを持ってご来館ください。

- 1 図書館で配布している「【FAX 申請用】予約・リクエストカード」（ホームページから印刷することもできます）に、名前、利用カードの番号、連絡方法及び連絡先、予約やリクエストをしたい資料を記入してください。

※図書館に所蔵のある資料（本、雑誌、視聴覚資料）は、どれでも予約することができます。

※図書館に所蔵のない資料のうち、リクエストすることができるものは次の各号のみです。

- (1) リクエストできる資料は『本』のみです。視聴覚資料や雑誌のリクエストは受付していません。
- (2) 発売日が確定できている本のみ、受け付けます。（出版社のホームページ等に掲載されている発売日を基準にしてください）

2. はつかいち市民図書館の FAX 番号【0829-32-7158】まで送信してください。

受取館が『大野図書館・さいき図書館・移動図書館車たんぼぼ号・大野西市民センター（※DVD・ビデオは大野西市民センターでは受け取れません）』の場合も、FAX 送信先は『はつかいち市民図書館』までお願いいたします。

※FAX の受付処理は、開館日の開館準備時間（平日 8:30、土日及び祝日 9:30 頃）1 回のみです。

受付後、処理しますので、利用者ページの「予約中一覧」に反映するには時間がかかる場合もあります。また、この時間以降に送信された『予約・リクエストカード』は、翌日扱いとなりますので、あらかじめご了承ください。

※予約リクエストをすることのできる上限は、両方あわせて 20 点までです。

新しく入った本(一般書)

図書館には 1 カ月に約 500 冊の新刊が入ります。その一部を紹介します。

『Google サービスが完璧にわかる本』改訂最新版 メディアックス 007.5 ヲ

『読書大全』堀内勉／著 日経 BP 019.9 ヲ

『広島藩』久下実／著 現代書館 217.6 ヲ

『サボる哲学』栗原康／著 NHK 出版 S304 ヲ

『リュック作り教室』水野佳子／著 主婦と生活社 594.7 ミ

『ボカロ P になりたい!一番やさしい作曲入門』gcmstyle(アンメルツ P)／監修 宝島社 L763.9 ヲ

『「やさしい日本語」表現事典』庵功雄／編著 丸善出版 810.7 イ

『透明な螺旋』東野圭吾／著 文藝春秋 F ヒ



今月の「さくらの小部屋」はお休みします。



『クモのアナンシ』

ージャマイカのむかしばなしー』

フィリップ・M.シャーロック/再話 マーシャ・ブラウン/絵 小宮由/訳 岩波書店 933/夕

アナンシは普段は人間の姿をしています。危険がふりかかると、小さなクモになって逃げ出す賢いやつです。ある日アナンシは、収穫を待ちこがれていた庭のアボカドの実を全部風に落とされてしまったので、弁償してもらおうと風を訪ねて行きました。そして、望みの物が何でも出てくるふるしきをもらったのですが…。

カリブ海の島々の人たちが、今でも子どもたちに語っているアナンシの楽しい話が 14 話入ったお話集です。この地域に縁のあるマーシャ・ブラウンがのびのびとした挿絵を添えています。

『ピアトリクス・ポターの物語』

ーキノコの研究からピーターラビットの世界へー』

リンゼイ・H.メトカーフ/文 ジュンイ・ウー/絵 長友恵子/訳 西村書店 E/ウ

ピーターラビットのお話で有名なピアトリクス・ポターは、子どもの頃から自然が大好きでした。大人になってとりわけ夢中になったのはキノコです。標本を正確にスケッチし、顕微鏡をのぞいては、胞子がどうやったら発芽するのか、昼も夜も研究に打ち込みました。そして、とうとうイギリスで胞子を発芽させた最初の人の一となり、論文も発表しました。

ピーターラビットのお話の中で、生き生きとした今にも動き出しそうな動物たちの姿を描いたポター。彼女が作品を生み出すまでの伝記絵本です。



子どもの本ができるまでに注目！ー4月～9月に図書館に入った児童研究書からー

『本の力ー私の絵本制作秘話ー』

酒井京子/著 童心社 726.6/サ

童心社で編集者として 200 冊近くの絵本と約 100 冊の紙芝居を担当した著者が、『おしいれのぼうけん』(ふるたたるひ/さく たばたせいいち/画)、「14 ひきのシリーズ」(全 12 巻 いわむらかずお/さく)、『いないいないばあ』(松谷みよ子/ぶん 瀬川康男/え)など、長い間読み継がれている作品の数々について語っています。

『おしいれのぼうけん』では制作合宿中に、文章と絵のどちらを削るかで作者たちが大げんかになりハラハラしたことや、「14 ひきのシリーズ」では、社内で「あんな軟弱な本は童心社の理念に合わない」という声と闘ったことなどが語られ、作者の人となりや様々な過程と困難を経て本が出来上がる様子が手に取るように伝わってきます。

「書店に行くとわかる。たくさんの本がならんでいるけれど、力が入った本とそうでない本はそこから発散するものが違う。それはその中に込められたものだと思う。込められたものが光り輝くのだと、私は信じている」。本の力を感じてみませんか。

『かこさとしと紙芝居ー創作の原点ー』

かこさとし/著 鈴木万里/著 童心社 726.6/カ

かこさんは、大学卒業後 40 代半ばまで毎週のようにボランティアで手描きの紙芝居を用意し、子どもたちの前で演じていました。絵本でおなじみの『どろぼうがっこう』や『おたまじゃくしの 101 ちゃん』なども、元は紙芝居から生まれた作品です。かこさんの創作の原点ともいえる紙芝居に関する仕事を振り返り、その秘密をかこさんの長女である鈴木さんがひもときます。

生涯に創作した作品の 4 分の 1 ほどが紙芝居にも関わらず、未出版のものも多いとのこと。その中から自伝的な紙芝居作品『秋』が今年 7 月絵本として出版されました。



『秋』 かこさとし/文・絵 講談社 E/カ

『岩波少年文庫のあゆみ 1950-2020』

若菜晃子/編著 岩波書店 908/ワ

1950 年クリスマスの創刊から 70 年を迎えた岩波少年文庫のあゆみを振り返る保存版。

長年にわたり多くの読者に愛されてきた 15 作品の解説をはじめ、挿絵画家や翻訳者の逸話なども収録。

巻末の総目録をチェックしながら、秋の夜長に少しずつ読んでみるのもおすすめです。

『児童図書館の先駆者たちーアメリカ・日本ー』東京子ども図書館/編纂 東京子ども図書館 016.2/シ

『科学絵本の世界 100ー学びをもっと楽しくするー』平凡社 L407/カ

『石井桃子の日本昔話ー『ふしぎなたいこ』と『おそばのきはなぜあかい』ー』杉山きく子/編著 「がんばれ！東京子ども図書館」の会 910.2/イ

上記の他にもあります。児童新刊コーナーに 10 月中展示。



人形劇がやってくる！



廿日市市内で活躍しているボランティア団体「どんぐり座」「おはなしスタジオ」による人形劇などの公演です。観覧希望の方は、市ホームページの専用フォームでお申し込みください。

と き：11月20日（土）10：30～11：30（開場 10：00）

ところ：ウッドワンさくらびありハーサル室

内 容：人形劇「ぼんたのじどうはんばいき」他

対 象：3歳以上の幼児（保護者同伴）

定 員：30名程度

締 切：10月31日（日）23：59まで



《申し込み方法》 市のホームページの応募専用フォームから

はつかいち市民図書館ホームページからも応募専用フォームに入れます。

（入力していただいた個人情報は、新型コロナウイルス感染症対策のため、公演後1ヵ月保存します）

※1回の応募で、代表者の方を含めて3歳以上の方3人まで応募できます。3歳未満の方については、人数のみを選択して入力してください。応募は1組につき1回限りです。

※申し込みをされた方には結果を全員にメールでお知らせします。応募者多数の場合は抽選になります。

応募フォームに入力したメールアドレスに図書館から返信が出来るように、

「@city.hatsukaichi.lg.jp」のドメイン受信ができようように設定をお願いします。



10月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
					1 ◎	2
3	4	5	6	7	8	9 ★
10	11	12	13	14	15 ◎	16
17	18	19	20	21	22	23 ★
24	25	26	27	28 休館	29	30
31						

◎ ちいさいこのためのおはなし会

【対象】乳幼児

【時間】

1回目 10時30分～

※整理券配布時間 10時10分～10時20分

2回目 11時～

※整理券配布時間 10時40分～10時50分

☆ おはなし会

【対象】幼児～小学校低学年

【時間】11時～

※整理券配布時間 10時40分～10時50分

相談カウンターで整理券を配布しています。
配布時間が決まっていますので、ご注意ください。